

監査報告書

公益財団法人 緑の地球防衛基金

理事長 大石 正光 殿

2021年 6月 7日

公益財団法人 緑の地球防衛基金

監事 大槻 幸一郎 

公益財団法人 緑の地球防衛基金

監事 柳 憲一郎 

私たち監事は、2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度の会計処理及び理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) なお、全世界で蔓延している新型コロナウイルス感染状況は、昨年引き続き極めて厳しい状況にあり、国内外で当基金が助成している事業の現場確認は困難な状況にあります。

このため、助成団体との意思疎通を十分に図る中で、適正な資金利用状況の確認を行うとともに、必要があれば助成金の繰越手続きを許容する中で、助成金の計画的・効率的な使用が行われるよう期待いたします。